

喜

令和7年 11月23日(日)

13:00 開演 (12:00 開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂 (喜多能楽堂)

前売券：販売中

料金：全席指定(税込)

S席 10,000円 C席(1階後席) 7,500円

A席 9,000円 D席(2階席) 7,500円

B席 8,000円 学生席(2階席) 2,500円

※25歳以下、要学生証提示

・12時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は11時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団

協力：一般社団法人喜多流職分会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

喜多流 自主公演

令和七年十一月

天 三
鼓 輪
佐 佐
藤 藤
寛 泰
陽

令和7年度 喜多流自主公演について

- ◆ 令和7年度(令和7年4月~令和8年3月)は全10回公演です。
- ◆ 指定席券 全10回公演分 販売中
- ◆ 全席指定(税込) S席 10,000円 C席(1階後席) 7,500円
A席 9,000円 D席(2階席) 7,500円
B席 8,000円 学生席(2階席) 2,500円
※25歳以下、要学生証提示

- ◆ 令和7年度 喜多流自主公演年間優待券
5枚綴 40,000円(税込)

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な優待券です。
- ・別途座席指定券をご予約ください。(追加料金なし)
- ・令和7年度自主公演のみ有効、喜多流青年能ではご利用いただけません。
- ・喜多能楽堂事務局、喜多流各職分にてお取り扱いしております。

チケット予約購入のご案内

インターネット予約

喜多能楽堂ホームページ <https://kita-noh.com/ticket/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示される番号をレジにご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカード・キャッシュレス決済をご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際に画面に表示される番号を窓口にご提示の上、チケットをお受け取りください。事前に予約画面にてクレジットカードによるオンライン決済をお済ませください。当日のお支払いはお受けいたしかねます。

電話予約

喜多能楽堂事務局(喜多能楽堂内) TEL. 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカード・キャッシュレス決済をご利用いただけます。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際にお伝えする番号を窓口にご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口予約

喜多能楽堂事務局(喜多能楽堂内) TEL. 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみ、チケットは窓口でお受け取りください。

- ※ お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
ご予約の際ご案内いたします。
- ※ ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

自主公演観客席ご案内



- S席 10,000円 C席(1階後席) 7,500円
 - A席 9,000円 D席(2階席) 7,500円
 - B席 8,000円 学生席(2階席) 2,500円
- ※25歳以下、要学生証提示

会場ご案内

十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

お問い合わせ(喜多能楽堂事務局) TEL. 03-3491-8813

喜多能楽堂ホームページ <https://kita-noh.com/>

ご注意

- ・ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせのご来場をお願いいたします。
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・喜多能楽堂内に食堂や軽食の売店はございません。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。
- ・盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

事前解説 金子龍晟

能

三輪

後シテ三輪明神
前シテ里女 佐藤寛泰

ワキ玄奘僧都 野口能弘

アイ三輪の里人 大藏教義

大鼓 安福光雄 太鼓 大川典良
小鼓 清水和音 笛 藤田貴寛

後見 内田安信
栗谷浩之

地謡 高林昌司 高林呻二
友枝真也 狩野了一
佐々木多門 中村邦生
谷 友矩 金子敬一郎

狂言

船渡智

シテ智 大藏彌太郎

アド男 小梶直人
アド・太郎冠者 大藏章照
アド・船頭 吉田信海

休憩(二十分)

仕舞

梅枝 出雲康雅
女郎花 金子敬一郎

地謡 狩野祐一
佐々木多門
栗谷明生
大島輝久

能

天鼓

後シテ天鼓
前シテ天鼓の父 佐藤 陽

ワキ勅使 村瀬 慧

大鼓 大倉栄太郎 太鼓 林 雄一郎
小鼓 住駒充彦 笛 小野寺竜一

アイ官人 大藏基誠

後見 香川靖嗣
高林呻二

地謡 金子龍晟 粟谷浩之
谷 友矩 内田成信
塩津圭介 長島 茂
狩野祐一 大島輝久

附祝言

終了予定時刻 十七時十分頃

三輪(みわ)

大和国三輪山のふもとに住む玄奘僧都のもとに、毎日シキミと閻伽の水を持って通う女があった。ある日、求められるままに女に衣を授けた僧都は、女の住処を尋ねる。女は『我が庵は三輪の山もと恋しくはとぶらい来ませ杉立てる門』の和歌を引用し、杉立てる門を目じるしに尋ねてくるよう言う姿を消す。(中人)

三輪の里人より、三輪山の御神木である杉の枝に僧都の衣が掛けられているとの報せを受け、不思議に思った僧都は神杉を訪れる。神杉の枝には先に女に与えた衣が掛けられており、金色の文字で神詠がしたためられていた。やがて三輪明神が姿を現し三輪の神話を語り舞い、天照大神の岩戸隠れの様を見せるが、夜明けとともに姿を消すのだった。

(約九十分)

船渡智(ふなわたしむこ)

酒樽を持って舅の家に挨拶に行く智が道中、渡し船に乗ると船頭に酒をせがまれる。智が仕方なく酒を振る舞っているうちに酒樽は空になってしまふ。空の酒樽を持って舅の家に到着すると...

狂言の「智入り」とは、智が結婚後初めて舅の家に挨拶に行く儀礼のこと。(約二十五分)

天鼓(てんこ)

後漢の頃、天から降り下った鼓を持つ天鼓という者があった。その鼓の音は素晴らしく帝はそれを召し上げようとしたが、天鼓はそれを拒んだため殺され漏水の底に沈められた。鼓を内裏に召して打つ音が鳴らないため、天鼓の父を内裏に呼び出し打たせてみると妙音を発した。親子の愛情の故であろうと帝もあわれに思い、父には数多の宝物を与え、自宅へと送り帰す。(中人)

帝が漏水の堤にて管弦講を催し天鼓を弔うと、それを喜び天鼓の霊が現れ鼓を打ち舞を舞うが、やがて夜明けとともに、夢うつつと消えてしまうのだった。

(約九十五分)

令和七年 十二月 自主公演番組予告

令和七年 十二月 二十一日(日) 十三時始

●会場 十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)

●前売開始 前売券販売中

誓願寺 中村 邦生
黒塚 栗谷 浩之
白頭